

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 キッズワールドサポートOcean II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	活動内容によりスペースを広げる等している。	SST学習等では、低学年、高学年に分かれ個室(事務所)も活用していく。
	2	職員の配置数は適切である	1	4	月に2日の足もみの講師、月に1日のSTの先生が来る。	必要に応じて職員を増やす予定である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	玄関前は階段があり、必要時にはロープをつけるようにしている。	その都度、利用児童の特性に合わせ適切な配慮を取っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	2	家庭的な雰囲気にしており、落ち着いて活動出来るようにしている。	活動の中で「整理整頓」も取り入れているので職員、児童みんなで意識して心地よい環境作りに取り組む。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	毎朝、申し送りをして情報共有をしている。	非常勤の職員に対しては申し送り簿等を見てもらい共有していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	ホームページで公開しています。	継続していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		無回答1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3	無回答1 インターネットで情報を確認している	職員の要望も聞きながら継続して情報を確認し機会を確保していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		相談員の計画書の共通理解担当者会議での情報を共有し職員間での会議を行い計画書の作成を行っている、	継続していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	標準化されたアセスメントツールを使用しており、誰が見ても分かりやすい。	継続していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			地域支援に関しては、コロナ感染症の状況を見ながら検討していきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		職員全員が計画書をいつでも見れる状況にしている。	継続していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎月、職員で話し合いを持ち、プログラムを立案している。	継続していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		外部の読み聞かせや演奏のボランティアの方を定期的	継続していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		各々の得意な事は伸ばせるようにし、苦手な事は無理のないように配慮しながら、個別活動と集団活動を組み合わせるようにしている。	継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝のミーティングで送迎の確認・活動内容・役割分担の確認をしている。	継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	申し送りシートを活用し情報の共有をし、朝のミーティングでも再確認している	継続していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		複写式の連絡ノートの活用と支援記録を残している。	継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的にモニタリングを行い職員と話し合いに上、見直し	継続していく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	担当者会議前には、職員でモニタリングを行っており、担当者会議には主に児童発達管理責任者が参加している。	日時の調整で児童発達管理責任者の参加が厳しい事もあった。事前に職員全員での確認は継続してしっかり行っていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	無回答1	コロナ禍において直接かかわる事が厳しかったが状況を見て関わるようにしていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		2	無回答3 該当者がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2	無回答3 該当者がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			年度末等に担当者会議を持ち共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			年度末等に担当者会議を持ち共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		コロナ禍において研修を受ける機会が少なかった。状況を見ながら研修を受けられるようにしたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	近くの学童と協力し合いハロウィンのイベントに参加が出来た。	コロナ感染症の状況を見ながら交流を増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	無回答1	参加出来ない状況が多く、状況を見ながら検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡ノートの活用と送迎時での報告、状況によっては電話での報告等。	継続していく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		無回答1	支援を検討していきたい。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	無回答1 契約時に説明をおこなっている。	継続していく。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		職員で会議を持ち計画書が作成された後は、支援内容の説明を行い保護者からの同意(サイン、印)を得ています。	継続していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	相談内容を職員で話し合い助言と支援へ繋げている。	状況によっては学校の先生方とも共有し支援に繋げていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		コロナ禍において保護者会を開催出来なかったが、状況を見て検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	行事予定を毎月発行している。	季節ごとに写真付きの会報を発行する予定。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			継続し取り扱いに注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		コロナ感染症の影響もあり地域の方を招待するには至らなかったが状況を見ながら検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	年に2度の計画をしている。	マニュアル等は玄関へ貼りだしており、訓練は夏休みと春休みに予定している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3	年に2度の計画をしている。	夏休みはコロナ感染症の影響で実施出来なかった。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	ご家族より事前に報告を受けている。	転換に関しては発作前の症状等を職員が把握出来るようにしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	保護者から事前に報告があり全職員が把握出来るようにしている。	おやつ等を提供する前に再確認を行う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	申し送りノートにも記載している。	ミーティングでも再確認し共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	役所の研修を受けるようにしている。	コロナ感染症の影響もあり受ける事が出来なかったが機会を確保していくようにしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	身体拘束を行う事がない為計画書には記載していない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。